

考え方

先週の学年通信では、考え方によって環境は地獄にも極楽にもなるという話をしました。

京セラや KDDI の設立者であり、営業不振だった JAL (日本航空) の会長となって見事に営業利益を回復させた鹿児島県出身の稲盛和夫さんは書著の中で、人生の成功を収める方程式

「人生の成功＝才能×熱意(努力)×考え方」と記しています。この方程式を成り立たせる才能、熱意(努力)、考え方の三つ要素の中で一番大切なものが考え方であるといっています。

この方程式は、三つの要素を数値化した場合の数値の範囲を、才能と熱意(努力)を0～100点、考え方を-100～100点として計算をします。したがって、才能や熱意(努力)が高い数値であったとしても、考え方がマイナスであれば結果の数値はマイナスとなり、人生の成功はおさめられないことを意味します。

才能や熱意(努力)に優れた人が、間違った(マイナス)考え方をもったために、人に迷惑をかけた、人としての道を外してしまったという報道を見聞きすることがあります。

こういったことから、正しい考え方である「公正、誠実、明瞭、勇敢、謙虚、克己、利他」をもつことが大切であると、稲盛さんはいっています。

今、あなたはどのような考えのもと、行動をしていますか。



学べることの幸せ

もし文字を知らなかったら・・・

もし計算の仕方が分からなかったら・・・

想像してみてください。文字が分からず、計算できない自分を。

私たちは本や漫画を読むことも、正しく買い物することもできません。

普段の生活から、読み書きや計算することを切り離すのは、とても難しいことだと思いますか。

日常生活で必要な文章を理解して読み書きができる能力のことを「識字」と言います。文字の読み書きや計算できない人々を「非識字者」と呼び、世界には約7億8100万人の成人非識字者(15歳以上)がいると言われていています。日本の識字率は99%で世界28位、最下位の南スーダンの識字率は27%となります。

識字率が低い背景には、貧困や差別、紛争などの理由により、学校に通うべき年齢で教育が受けられないことが挙げられます。

読み書きができないと、生活にどんな影響を与えるのでしょうか。

右に、カンボジア語(クメール語)が表記された全て同じ色、無臭の液体の入った3つのコップがあります。

どのコップに薬が入っているか分かりますか？

文字が読めなければ薬を選ぶことができません。カンボジアでは、字が読めないまま契約書にサインをしてしまい、土地をだましとられたり、娘を売られたりする家族が後を絶たないそうです。

また、薬だと思い農薬を誤飲してしまう人もいます。

学べることの有り難さが分かってもらえたでしょうか。

※コップに表記された字はカンボジア語(クメール語)で左から「水」、「毒」、「薬」と書かれています。

